



青雲寮コース

充実した6年間の学習・生活サポート体制
東京大学、国公立大学医学部医学科などの
難関大学進学をめざす

目は高く足は大地に

めざすなら高い嶺

北嶺



2024-2025

HOKUREI JUNIOR-SENIOR
HIGH SCHOOL



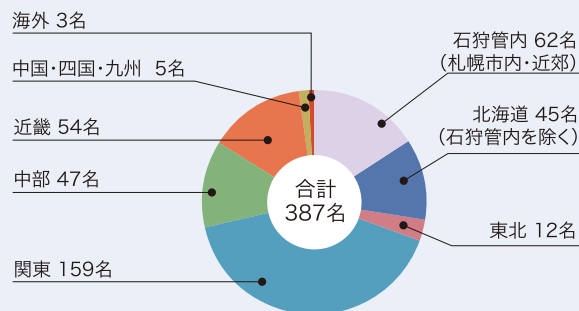
東京大学・国公立医学部医学科 難関大学合格に強い北嶺「青雲寮コース」

北嶺中入試で選抜された青雲寮コース生は、きめ細かな生活支援を受けながら、充実した学習サポートプログラムを受講することができます。学力の向上はもちろんのこと、決められたルールのもとで生活を送ることで、自立心を身につけることができます。そして何よりも、6年間寝食をともにする仲間との絆を深めることができ、自分の一生を支えるかけがえのない友人をつくることができます。

全国から注目される寮へと成長 26都道府県から集まる387名が生活

青雲寮コースが開設されて11年が経ち、青雲寮での充実した学習サポート・生活サポートが注目を集め、青雲寮コースを希望する受験生が徐々に増加しました。2024年度、北嶺中学校入学試験では約500名の受験生が青雲寮コースを希望し、選抜された66名が新たに入寮しました。2024年4月現在、全国26都道府県（＋海外）から集まった387名が青雲寮で共同生活を送り、互いに切磋琢磨しながら現役での難関大学合格をめざしています。

寮生の出身地



全国26都道府県(海外)から集まった青雲寮コース生(名) ※2024年4月現在

※出身小学校の所在地で分類(名)

北海道 107				東北 12		関東 159		中部 47		近畿 54		中国・四国・九州 5		海外 3	
石狩管内	62	上川	6	青森県	2	茨城県	3	新潟県	2	京都府	5	岡山県	1	ソウル	1
札幌市内	58	留萌・宗谷	1	岩手県	1	栃木県	1	石川県	2	大阪府	29	香川県	1	バンコク	1
札幌近郊	4	オホーツク	3	宮城県	7	群馬県	2	山梨県	1	兵庫県	18	愛媛県	1	モスクワ	1
空知	7	胆振・日高	9	福島県	2	埼玉県	7	静岡県	10	奈良県	2	福岡県	2		
後志	2	十勝	4			千葉県	14	岐阜県	2						
渡島・檜山	10	釧路・根室	3			東京都	95	愛知県	30						
						神奈川県	37								
													合計	387	



生涯の友と出会うもう一つの家族 青雲寮コース「北嶺ファミリー」

青雲寮コース生は、仲間とともに以下の目標達成をめざす

青雲寮の 目標

1. 教科学習を中心とする勉学に取り組み、互いの向上発展に努める。
2. 相手を尊敬し、互いに信頼し合い、豊かな友情を育むことに努める。
3. 規律正しい共同生活を重んじ、礼儀正しく、北嶺の生徒としての品位を身につけるように努める。

難関大学合格をめざす、高い目標をもった生徒を支援します

北嶺中・高等学校は開校より全人教育をめざし、心豊かな人材を育成する一環として、希望者が入寮できる「青雲寮」を併設しました。

2013年度より、青雲寮を希望する寮生への生活・学習支援体制をさらに整備し、現役で東京大学や国公立医学部医学科などの難関大学の合格をめざすことができる「青雲寮コース」を開設しました。

進学実績が伸びるとともに、全国各地から「青雲寮コース」に注目が集まり、今では北嶺中入試の結果で入寮生を選抜するほどの寮へと成長しました。

青雲寮コース生は、寮生限定の夜間講習や北嶺OBチューターの学習指導を受けることができます。寮専門の学習スタッフ(寮教諭)の学習支援を受けることができます。学習習慣を定着させるとともに、学習意欲も最大限高められる良き環境が青雲寮にはあります。

また、寮母や養護教諭(看護師)をはじめとした多くの寮スタッフに見守られながら安心して生活を送ることができ、6年間の寮生活で自立心も獲得することができます。

さまざまな個性を持つ「志」の高い仲間と毎日の寝食をともにし、「青雲寮コース」で自分の「夢」を実現させてみてはどうでしょうか。そして、6年間ともにした仲間は一生の友人となるはずです。



寮監長
(北嶺中・高等学校長)
谷地田 穰

青雲寮コースの充実したプログラム

1 多様な専門スタッフによる「フォロー体制」

青雲寮には生活や学習を支える「寮監・寮母・寮教諭・養護教諭(看護師)」がいるため、安心して6年間の生活を送ることができます。

2 学習指導 夜間講習

学校の先生や寮教諭による「寮生限定の夜間講習」を実施しています。学習時には、個別の質問にも対応しています。

3 専属スタッフによる 個別指導

学習につまずいた寮生には、専属の寮教諭1名につき1～2名の個別学習指導を行っています。

4 北嶺OB大学生(医学部生)・現役 医師チューターによるサポート

本校を卒業した医学生や現役医師が毎日青雲寮を訪れ、寮生への学習サポートや進路相談を行っています。

5 外国人講師による 「英会話教室」

中学1・2年生を対象に、「英会話教室[SEA]」を開講し、グローバルプロジェクトのさまざまな取り組みに備えます。

6 北嶺OB(難関大学生や医師)による講演会・座談会の実施

大学生活を知り、職業観を育む進路指導の一環として、本校を卒業した大学生や現役医師による講演会や座談会を実施しています。

青雲寮コースの 学習プログラム

《 青雲寮コース生の学習 》

青雲寮コース生は19:00からの約3時間半、寮教諭や北嶺OB大学生チューターの学習支援を受けながら自主的に学習に取り組みます。中学生は個別のブースが与えられた学習室で、高校生は自室または自習教室で勉強します。また、中学生・高校生ともに、学校の先生や寮教諭による「夜間講習」(中学生は必修)を受講します。

中学生の学習

(19:00～21:00, 21:30～23:00)

中学生は、個別ブースが与えられた学習室で勉強に取り組みます。北嶺では国数英を中心に毎日宿題が課せられるので、寮教諭や北嶺OB大学生チューターのサポートを受けながら学習を進めていきます。学習室にはたくさんの学習指導スタッフがいるため、いつでも質問をすることができ、効率的に学習を行うことができます。また、国語・数学・英語の3教科は、学校の先生や寮教諭による「夜間講習」が必修となっているため、基礎学力の定着を図ることもできます。



高校生の学習

(19:00～21:00, 21:30～23:00)

高校生は自主性を重んじ、自室または自習教室で個別に学習に取り組みます。高校3年生は一人部屋となり、自室でより一層集中して勉強することができます。高校生も毎日学校から課題をたくさん与えられるため、巡回する寮教諭や北嶺OB大学生チューターに質問をしながら学習を進めます。高校生の「夜間講習」は希望制となりますが、高校3年生はほぼすべての教科・科目の講座が開設されており、学習意欲の高い青雲寮コース生は積極的に参加しています。



青雲寮コース限定 特別学習指導・進路指導

青雲寮コース生は、青雲寮に用意された多彩な学習指導や進路指導を受けることができます。学習を自分で進めることが苦手であっても、充実した学習メニューによって、能動的に学習を行うことができますようになります。



学習意欲がアップする 多彩な学習・進路プログラム

special
1

学校の先生・寮教諭による 寮生限定の「夜間講習」指導

学校で実際に授業を担当している学校の先生や寮教諭が、平日の毎日19:00から1時間程度、青雲寮コース生の学習をサポートする「夜間講習」を実施します。中学生は必修となり、習熟度別(2つのコース)の国語・数学・英語の「夜間講習」が開講され、授業の復習を中心に発展的な学習にも取り組みます。高校生は希望者の参加となりますが、授業の復習を中心に大学入試問題にも挑戦するため、志の高い多くの青雲寮コース生が参加します。

学校の授業と連動した内容となるため、青雲寮コース生は基礎学力をしっかりと定着させることができます。難関大学へ多くの生徒を合格させている先生方を信じ、意欲的に学習に取り組む青雲寮コース生の姿が見られます。



青雲寮コース生「夜間講習」(平日19:00～)※中学生は全員参加 ※2023年実施例

	中学1年生	中学2年生	中学3年生	高校1年生	高校2年生	高校3年生
月曜日	国語A/B	国語A/B	国語A/B	数学A/B	数学A/B	数学A/B
火曜日	—	英語A/B	数学A/B	—	化学	英語A/B
水曜日	英会話[SEA]	—	—	国語A/B	英語A/B	日本史/世界史
木曜日	数学A/B	英会話[SEA]	英語A/B	英語A/B	生物	化学/地理
金曜日	英語A/B	数学A/B	—	—	物理	物理/生物

special
2

学校と寮が連携 寮教諭 個別学習指導

※寮教諭:寮生の学習指導や生活支援を行うとともに、午後の学校の授業も担当するスタッフのことです。

学校と寮は連携しているため、学習状況やテストの結果が思わしくない寮生がいた場合は、寮教諭が個別の学習指導を行います。寮教諭は、実際に学校の授業を担当していること、学校の先生と密に情報交換を行うことで、寮生の学習到達度をつねに把握しています。適切な指導・アドバイスを行うことで、寮生が学習に遅れをとらないようにしています。個別指導を行う寮教諭の存在は、青雲寮コースの大きな魅力の一つになっています。



青雲寮コース限定 特別学習指導・進路指導

北嶺での学習や生活、大学受験を知りつくした北嶺OB大学生チューターによる学習指導・進路指導は、後輩である青雲寮コース生には心強いものとなります。

また、北嶺OBによる特別講演会、外国人講師を招いた「英会話教室[SEA]」も行っています。

special
3

北嶺OB(難関大学生や現役医師)による特別講演会

進路選択の一助として、大学や社会で活躍する北嶺OBを青雲寮に招いた「特別講演会」を実施しています。東大生による「東大での学生生活」や「脳科学研究」、京大生による「物理気象学」、阪大生による「生物の発生のしくみ」、獣医学部生による「環境保全と野生生物」、医師による各種講演をこれまでに実施しています。講演会後はさまざまな質問が飛び交い、寮生がいろいろな職業や学問を知る絶好の機会となっています。寮生は北嶺OB大学生チューターをはじめ、多くの北嶺OBと触れ合う機会が多く、難関大学進学へのモチベーションを高めることができます。



special
4

北嶺OB医学部生チューターを中心とした学習・進路指導

北海道大学医学部医学科や札幌医科大学医学部医学科など、難関大学に所属する約30名の北嶺OB大学生がチューターとして、青雲寮コース生の学習・進路指導を行います。毎日3名ほどのチューターが交代で青雲寮を訪問し、中学生の学習室に常駐する他、高校生の自室や自習教室を巡回して学習の質問への対応を行います。チューターは学校や青雲寮でともに生活した身近な先輩のため、勉強法、参考書選び、実際の大学生活や大学での勉強や研究などを気軽に聞くことができます。成功した先輩との触れ合いを通じて、青雲寮コース生は大学進学への意欲をさらに高めることができます。



special
5

「英会話教室」SEA(SEIUN English Activity)

北嶺のグローバルプロジェクトでは、ニュージーランド語学研修・ホームステイ(中学2年生～高校1年生)、京都大学在籍の留学生と巡る京都市内研修(中学3年生)、ハーバード大学の学生との英語ワークショップ(中学3年生・高校1年生)、ハーバード大学・マサチューセッツ工科大学での英語特別研修(高校1年生)など、実際に英語を活用する多彩な研修があります。青雲寮では中学1年生と中学2年生を対象に、英会話指導に優れた外国人講師を招き、英語のコミュニケーション能力を高める英会話教室を実施しています。中学に入学して英語の学習を本格的に始める生徒も多く見られますが、英語を楽しむとともに英語に親しみが持てるような指導を行っています。



青雲寮コース生の 1日のスケジュール

寮生は決められたスケジュールのもと、自主的に行動・判断して毎日の生活を送る必要があります。学校を終えた放課後から18:50の寮生ホームルームまでは、比較的自由に活動することができます。

	平日	休日		平日・休日
起床	～7:15	～7:30	夕食	16:30～18:30
点呼・清掃	～7:30	～8:00	寮生ホームルーム	18:50～19:00
朝食	7:00～8:00	7:30～8:30	学習(前半)	19:00～20:00/20:10～21:00
登校	～8:25	～18:50	休憩・夜食	21:00～21:30
昼食	12:40～13:10	自由時間 (昼食11:30～12:30) (体育館・グラウンド開放) (映画鑑賞) (レクリエーション)	学習(後半)	21:30～23:00(土曜日は自由時間)
入浴	15:30～18:50 ※希望者は下記の時間も入浴できます。 6:00～7:00 21:00～21:30 23:00～23:30		消灯	23:30
			延灯学習	中学生 ～24:30 高校生 ～25:00

※平日は原則外出不可(ただし、遠方の保護者が来られた場合は外出や外泊を許可しています)。

※土曜午後・休日は外出可(夏季:～17:30、冬季:～17:00)。

時間とルールを守り 仲間との調和を大切にした生活

寮生の1日は、7:15の起床点呼から始まります。23:30には消灯となり、明日への英気を養います。決められた時間・ルールを守ること、規則正しい生活習慣を身につけるとともに学習習慣を確立させることができます。自己中心的にならず、仲間との調和を大切にしたい信頼される人物へと成長することで、6年間の青雲寮生活を円滑に送ることができます。



団らん

※部活がない場合、売店での買い物、仲間との団らん、パソコンなどで楽しみます

青雲寮コース生の生活を支える 生活サポート

青雲寮コース生の生活がより快適になるよう、多くのスタッフによる生活サポートがあることはもちろんのこと、青雲寮にはさまざまなアメニティがあり、青雲寮コース生は自由に利用することができます。

仲間との交流・絆を深める 充実したアメニティ

平日・土日祝日ともに18:50の寮生ホームルームまでの時間は、青雲寮コース生は自由に生活することができます。部活動に参加する寮生も多く見られますが、部活動のない日は早めに入浴したり、食事をとったり、売店で買い物したりと、ゆっくりと過ごすことができます。青雲寮での生活が快適になるよう、充実したアメニティが青雲寮にあり、仲間と楽しいひと時を過ごすことができます。

青雲寮は平日の外出は禁止となりますが、休日は17:30(冬季17:00)まで外出することもでき、夏季は自転車を貸し出しています。また、休日は体育館開放、グラウンド開放、映画鑑賞会を行うほか、月に一回はレクリエーションが開催されます。



自動販売機



売店



TV鑑賞・新聞



動画鑑賞



パソコン貸出



iPad貸出



楽器演奏



ピアノ(電子ピアノ)4台



屋外バスケットボールコート



休日グラウンド開放



休日テニスコート開放



休日体育館開放



休日映画鑑賞



自転車貸出(夏季のみ)



ボードゲーム貸出



卓球



将棋



ミニ図書館



リラックスルーム



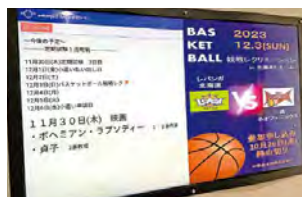
投げ斧ダーツ



フィンランド式サウナ(2台)



水風呂プール



連絡用サイネージ



エアダスター

栄養バランスのとれた多彩な 食事メニュー

栄養バランスのとれた食事メニューが、青雲寮では毎日4食提供されています(夜食も提供)。朝食は和洋食のbuffet方式、夕食は定食、昼は3種類の食事メニューから選択、夜食はおにぎりや菓子パンなどの軽食を提供します。2023年度から、全国での給食委託で定評のある「株式会社LEOC」が青雲寮コース生に多彩な食事を提供します。

※通学生も青雲寮食堂で昼食をとることができます。※アレルギー食にも対応しています。



朝食バイキング



デミトンカツ定食

オープンスクール・学校見学会
で試食ができます!

北嶺スペシャルメニュー
4種のお肉が入った
北嶺丼!



塩サバ定食



チキン南蛮定食



ユーリンチー定食



チキンカレー定食



しょう油ラーメン定食



手ごねハンバーグ定食

		4月16日 火	4月17日 水
朝食		ハンバーグ たまごサラダ・ツナマヨ ウインナー・ベーコン フルーツ 野菜サラダ コーンポタージュ ライス・パン 佃煮・納豆・海苔・生卵 牛乳・ソフトドリンク	つくねの和風おろしソース ミニコロッケ(南瓜) とろろ ヨーグルト 野菜サラダ 味噌汁 ライス・パン 佃煮・納豆・海苔 牛乳・ソフトドリンク
		7:00 \$ 8:00	
昼食		A定食	油淋鶏 1069 kcal
		カレー定食	カツカレー 1140 kcal
		麺定食	混ぜそば 714 kcal
		副菜	無水肉じゃが 味噌汁
夕食		デミトンカツ 855 kcal	バターチキンカレー 977 kcal
		チャーシューエッグ 905 kcal	牛丼 1040 kcal
夜食		切干大根の煮物 ミックスサラダ 味噌汁 ライス	温泉卵 ミックスサラダ 味噌汁
		クリームパン ジャムパン	おにぎり

1日のメニュー例

青雲寮コース生が楽しめる アクティビティ 〜スタッフが指導して安全に使用〜

青雲寮には、青雲寮コース生が休日に楽しむことができる多くのアクティビティが用意されています。青雲寮スタッフ指導のもと、「ドローン」の操縦、校舎の裏山内に整備されたコースを走る「バギー」や「スノーモービル」の操縦、「ボルダリング」の体験ができます。大自然に囲まれた中で走る「バギー」や「スノーモービル」は、北嶺・青雲寮ならではのアクティビティとなっています。



ドローン操縦



バギー(夏季)



スノーモービル(冬季)



ボルダリング

Interviews 寮生の声

1日中、仲間と共有・共働できる青雲寮

中学2年生

札幌市内に住んでいる私が青雲寮コースを選んだ理由は、オープンスクールや学校見学の際に、青雲寮には勉強に集中することができる良い環境があると思ったからです。実際に青雲寮に入寮して、良かったと感じた点を皆さんに2つ紹介します。

1つ目は、通学生であれば体験することができない多くのレクリエーションに参加できる点です。温泉プール旅行・ルスツ遠足・野外ジンギスカンパーティーなど、普段であれば仲間と共有できない素敵なひと時を送ることができ、互いの理解や信頼を深めることができます。2つ目は、先輩や同級生とすぐに仲良くなれる点です。青雲寮生は1日中行動をともし、触れ合う時間も長いため、先輩とコミュニケーションをとることもあります。北嶺の先輩方はいろいろなことを優しく教えてくれるため、青雲寮での生活にも不安を感じることはありません。安心して勉強や生活をする環境が青雲寮にはあり、自分の夢をかなえるための大事な一歩を順調に踏み出すことができました。

前田 悠翔

Maeda Yuto

北海道 札幌市立宮の森小学校出身



学校見学で青雲寮コース入寮を決断、多彩な学習サポートが魅力。

中学3年生

いち早い自立を求め、私は寮のある学校へ進学したいと考えていました。全国の寮のある学校の中から、学習・生活サポートが充実した北嶺の青雲寮コースが私に合うと思い、小学6年生の時に北嶺に進学すると決意しました。

青雲寮での学習は、毎日同じ時間に学習時間が設定され、自然とその時間に学習に向かうことができます。学習室では、寮教諭やOB大学生チューターが巡回しているため、緊張感が高まるとともに、学習に集中して取り組むことができます。さらには、いつでも質問することができ、理解ができるまで丁寧に教えてくれます。学校の先生による夜間講習では、授業の復習や定期試験対策が行われるため、授業内容の理解や定着がすすみます。英会話講習では、外国人の先生とコミュニケーションをとることができるのも楽しみの1つです。青雲寮には、学習に対するサポートがたくさんあります。難関大学進学をめざしたい児童の皆さん、青雲寮に一度見学にいらしてください。

酒井 駿輔

Sakai Shunsuke

大阪府 帝塚山学院小学校出身



貴重な経験ができる青雲寮レクリエーション

高校1年生

神奈川県に住んでいる私がなぜ、北海道札幌市にある北嶺を進学先に選んだかというと、青雲寮には充実した学習サポートがあること、そして、北海道ならではの楽しそうなレクリエーションがあることに魅力を感じたからです。

入寮早々、新入寮生を歓迎するボウリング大会が開催され、先輩方が緊張した私たちと一緒にボウリングをし、温かい言葉をかけてくれたことは今でも心に残っています。プロ野球観戦や野外ジンギスカンパーティーなどのレクリエーションを通じ、同級生の仲間と心を通わせ、さらには先輩や後輩と仲良くなれることも青雲寮の魅力です。私が一番好きなレクリエーションはスキー遠足で、最高の雪質のキロロやニセコのスキー場でスキーを滑っているときには、北海道の素晴らしい自然を感じるとともに、仲間との大切な時間を過ごしていることに大きな喜びを感じます。北海道ならではの農業体験、酪農体験もあり、青雲寮生はさまざまな貴重な経験をすることができます。

仲地 琉真

Nakachi Ryuma

神奈川県 横浜市立 洋光台第一小学校出身



寮生の生活を支える「青雲寮自治委員」の活動紹介

高校2年生

青雲寮には、各学年5名の寮生で構成された「自治委員会」があります。新入生の生活サポート、レクリエーションの企画、清掃活動など、寮生の生活がより豊かになるような活動を行っています。青雲寮での最大のレクリエーション「クリスマス会」では、自治委員が食事の注文、クイズ大会やビンゴ大会の企画立案や景品の用意などを行います。中学1年生から高校2年生までの自治委員が1つになり、企画成功のために多くの議論を交わして運営することで、コミュニケーション能力を高めるとともに、先輩・後輩が仲良くなり、世代を超えて信頼関係を築くことができます。

自治委員のメンバーは、毎年2回、8月と10月に開催されるオープンスクールにて、校舎や青雲寮を案内します。全国各地の児童の皆さんと、間近でお話しすることをとても楽しみにしています。北嶺や青雲寮の魅力を、在校生である自治委員が生徒目線で伝えさせていただきますので、オープンスクールにぜひ参加してください。

百貫 呂威

Hyakkan Roi

北海道 函館市立 柏野小学校出身



Messages 難関大学に合格した寮の先輩からのメッセージ

東北大学 医学部医学科 合格

松尾 勇人

Matsuo Hayato

北海道 帯広市立花園小学校出身

私は帯広出身なのですが、親元を離れて自立したいという気持ちが強かったので北嶺中・高等学校に入学し、青雲寮に入寮しました。入学当初は家族と会えない寂しさを感じることもありましたが、たくさんの仲間に出会える中ですぐに寮生活に慣れていきました。学習面で疑問が生れたときは優秀な仲間、OBチューターの方々、寮教諭の方々に質問することができました。すぐ解決できないときは一緒に考えたりもしました。また、学習面以外でも相談にのってもらったりもしました。生活面では、寮母さんや寮教諭の皆さんに支えてもらっていました。病院への送迎、衣服の修繕などさまざまなサポートを受けました。

このように青雲寮では、学習面・生活面ともに充実したサポートを受けることができます。そして何より、6年間同じ屋根の下で過ごした仲間との思い出はかけがえのないものになると思います。受験生のみなさんもぜひ、青雲寮での生活を考えてみてはいかがでしょうか。



[33期生・現役]

北海道大学 医学部医学科 合格

守屋 輝陽

Moriya Teruaki

北海道 札幌市立幌北小学校出身

私は札幌市在住のため、北嶺中・高等学校に通学生として通えたのですが、親元を離れて自立した生活を送りたいと強く思い青雲寮に入寮することを決意しました。入寮当初は、家族と一緒に過ごせないことへの不安が大きかったのですが、同室になった友人や優しい先生方と毎日生活をしていく中で、段々と安心して生活することができるようになりました。

受験期には難関大学をめざす仲間や、大学生OBチューターの方々と大学の話をする中で、志望校をめざして勉強をしようというモチベーションを自然と上げることができました。通学時間が0分という利点を生かし、時間を有効に活用することを意識し、自身のスケジュール管理も上手になることができました。睡眠時間や勉強時間を長めに確保できたことで、学力を十分に向上させることができたのも大きな強みとなりました。青雲寮で充実した毎日を過ごしたことで、現役で目標とする志望校に合格することができたと思います。



[33期生・現役]

札幌医科大学 医学部医学科 合格

伊藤 響

Ito Hibiki

千葉県 千葉市立稲毛第二小学校出身

私は千葉県出身ですが、幼少から医師を志望し、医学部医学科の合格実績が高い北嶺中・高等学校への入学を決めました。青雲寮は勉強面でのサポート体制が素晴らしく、学習でつまづいた点を寮教諭や大学生OBチューターに相談してすぐに解決できました。生活面では同じ医学部をめざす仲間が多く、勉強を教え合ったり、夢を語り合い合ったり、外でいっぱい遊んだり、毎日とともに過ごすことで絆を深め、互いに向上することができました。家族と離れても寂しいと思うことなく、気の合う仲間と気楽に受験に向かうこともできました。寮生活を通じて協調性を身につけ、人間的にも自立できるなど、大きく成長できた6年間の寮生活となりました。寮母さんや寮教諭をはじめとするスタッフの皆さんには、私たちが快適に過ごせるよう全面的にサポートしていただきました。医師として社会貢献できるよう青雲寮で学んだことを生かし、将来に向けて前進し続けていきたいと思っています。



[33期生・現役]

一橋大学 社会学部 合格

石澤 零

Ishizawa Rei

東京都 墨田区立押上小学校出身

北嶺中・高等学校に進学を決めたのは、青雲寮コースの存在が大きかったからです。まず、青雲寮は学校に隣接しているため通学時間がかからないことが、首都圏に住む私には大きな魅力でした。数時間かかるだろう往復の通学時間を、部活や勉強などの学校活動に注ぐことができます。また、親元を離れ生活することで自立した生活習慣を心がけるようになるのではと考え、実際に6年間の青雲寮での生活で実現できたと思います。

寮には優秀な仲間が多く、日々多くの刺激を受けることができ、分からないことがあったらすぐに大学生OBチューター、寮教諭、友人に聞ける環境が整っており、十分な学力を身につけることができました。夜間講習や個別指導を受けられたからこそ、現役で志望校に合格できたと考えています。毎日が林間学校のような自然に囲まれた生活は、東京の学校に通っていたら体験できないことで、毎日の生活がとても楽しいものでした。



[33期生・現役]

大阪大学 法学部 合格

塚越 勢

Tsakakoshi Sei

神奈川県 横浜市立荏田小学校出身

私は神奈川県出身で、親の勧めもあって青雲寮に入寮しました。入寮したばかりの頃は親と遠く離れた所で上手くやっていけるか不安がありましたが、同部屋の仲間とすぐに心が打ち解け、寮生活に慣れることができました。寮母さんや先生方は普段の生活はもちろんのこと、病気になった時や物を紛失した時など、いつも親身になって私を助けてくれました。

学習面では、寮教諭にいつも質問をすることができるうえ、大学生チューターの方が部屋を訪ねて質問などがないか確認してくれたので、安心して勉強をすることができました。青雲寮は高校2年生までは2人部屋でしたが、だからこそ多くの友達ができたとともに、仲間の頑張る姿に触発されました。2人で朝に起こし合って勉強したことは、今でも大きな思い出となっています。寮生活を体験したからこそ、貴重な多くの体験をすることができ、青雲寮での生活は今後の人生に大いに生かされると思います。



[33期生・現役]

名古屋大学 工学部 合格

木村 任

Kimura Jin

愛知県 みよし市立黒笹小学校出身

親から離れて自立した生活を送り、さまざまな新しい体験・経験をしたいと考え、愛知県から北嶺中・高等学校の青雲寮に入寮しました。最初は慣れないところがたくさんありましたが、寮母さんや寮教諭の先生方が全面的に生活を支援くださったことで、すぐに居心地のよい場所へと変わっていきました。

青雲寮は学習する場所として、本当に恵まれた場所だと思っています。中学生の学習室には、寮教諭や大学生OBチューターがたくさん巡回しており、すぐに学習相談や生活相談をすることができました。寮生だけの夜間講習を受講できたり、大学生OBチューターに進路相談ができたりなど、青雲寮のスタッフから手厚いサポートをたくさん受けることができました。自分と同じ高い目標をもつ仲間と巡り会えたことも大きな力となり、毎日を生き生きと生活することができました。青雲寮に入寮したからこそ難関大学に合格できた今の自分がいると思っています。



[33期生・現役]

学習・生活を支援する多数の 青雲寮スタッフ

青雲寮には、保護者の代わりとして生活をサポートする寮監・寮母、学習をメインにサポートする寮教諭、体調面の管理をサポートする養護教諭(看護師)、食堂・清掃・洗濯・売店などの多数のスタッフが常駐し、青雲寮コース生の学習や生活を親身になって支援します。たくさんの大人の目がすみずみに行き届くため、青雲寮コース生は安心して毎日を過ごすことができます。

青雲寮常勤 スタッフ 26名

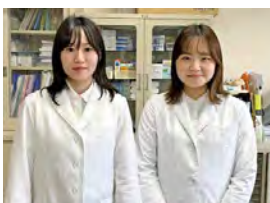
寮監長1名、副寮監長5名、寮母2名、養護教諭(看護師)2名、寮監4名、寮教諭12名(寮医1名 ※定期的に健康相談で往診)
※その他 食堂・清掃・洗濯・売店スタッフ、英会話スタッフ、北嶺OB大学生チューター



寮監長・副寮監長



寮母



養護教諭(看護師)



寮監・寮教諭



青雲寮 寮医
本校OB 8期生
札幌北嶺病院
柳 将人医師

現役医師／大学生チューター30名が登録

北嶺の先輩として、学習・進路指導を担当

北海道大学 医学部
医学科2年生

Takeda Ryoya
武田 稜也

北海道 札幌市立美しが丘緑小学校出身



北海道大学 医学部
医学科3年生

Ono Riku
小野 凌空

北海道 札幌市立北九条小学校出身



札幌医科大学 医学部
医学科3年生

Kawasaki Yuki
川崎 結貴

北海道 札幌市立緑丘小学校出身



青雲寮コース生の学習をサポートする心強い味方として、たくさんの大学生OBチューターが在籍しています。夜間の学習時間帯に3名のチューターが巡回し、合計30名のチューターが交代で担当するため、自分に合うチューターを見つけることができます。寮教諭とチューターの最大の違いは、北嶺生であったという「生徒としての経験」です。学習面・生活面の寮生の悩みに、北嶺生時代の経験をもとに答えることができるため、新たな視点からの問題解決へのアプローチを提供することができます。単にわからない問題を教えるだけでなく、各教科の勉強法や勉強計画の相談など、幅広く対応できるのもチューターの魅力です。また、進路相談については、自分自身の大学生活や各学部に進学した友人の話をする中で、寮生の進路選択に役立つことでしょう。

青雲寮では午後7時～午後11時までの約3時間半、学習時間がしっかりと確保されています。自学を助けるサポートして、学校の先生や寮教諭による夜間講習のほか、学習室や各自の部屋を巡回するチューター指導が用意されています。医学部に合格した医学部生チューターは、どの教科の質問に対しても答えることができ、優秀なチューター達を活用することで、さらなる勉強の効率化につながります。1人でずっと頭を抱えて立ち止まるのではなく、チューターに質問をして頼ってほしいと願っています。大学での生活はイメージしにくいと思いますが、私たちチューターが多くのことを伝えることで、寮生の学習意欲を高めることができるのではと感じています。北嶺で6年間を過ごした経験を生かし、少しでも多くの寮生の学習・生活のサポートができるよう指導にあたっています。

私は通学生だったため、寮生活についてのアドバイスをすることはできませんが、学校での6年間の生活や勉強・進路についてのアドバイスはすることができます。青雲寮の大学生チューターのメリットは、一緒に北嶺生活を送った先輩であり、寮生にとっては身近な存在であることです。先生に直接聞くににくい質問などがあった場合、寮生はチューターを頼ることが多いです。また、医学部を志望する寮生が多いため、大学での日々の授業内容・実習・生活・部活についても話すことがあり、進路指導の一助にもなっていると考えます。勉強時間の有効的な使い方や教科ごとの勉強方法などのアドバイスはもちろんのこと、各学年で何を考えて生活・勉強をしていかなければいけないか、寮生に伝える役割も私たちチューターの大きな使命となっています。



ワクチン接種を実施

青雲寮では寮医(本校OB医師)が定期的に往診し、青雲寮コース生の健康管理・健康相談を行います。また、冬のインフルエンザの流行に備え、毎年秋には寮医によるインフルエンザの予防接種(希望者)を青雲寮内で実施しています。



訪問理容サービス

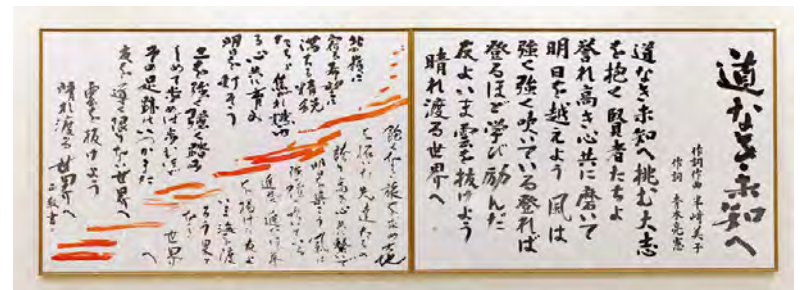
遠方から入寮している青雲寮コース生は、2か月以上実家に帰れないことがあるため、月に一度、青雲寮で訪問理容サービスを行っています(※別途費用)。多くの寮生が利用し、大変好評を得ています。



青雲寮寮歌(北嶺生応援歌) ～シンガーソングライター半崎美子さん作詞・作曲～

青雲寮コース生・北嶺生の生活を応援する「青雲寮寮歌(北嶺生応援歌)」の作製を、シンガーソングライターの半崎美子さんに依頼し、半崎美子さん作詞・作曲「道なき未知へ」が2021年11月に完成しました。歌詞にある、「誉れ高き心 共に磨いて明日を越えよう」、「焦がれ燃ゆる心 共に育み明日を灯そう」からは、希望に満ちあふれる若者たちに切磋琢磨しながら前に進んで欲しいという強い気持ちが込められています。朝の登校時には、青雲寮内や学校内でこの曲を流し、北嶺生は半崎さんのこの曲から勇気やエネルギーをもらっています。

※学校ホームページよりご視聴いただけます。



2023年、青雲寮1Fホール周辺が新しくなりました

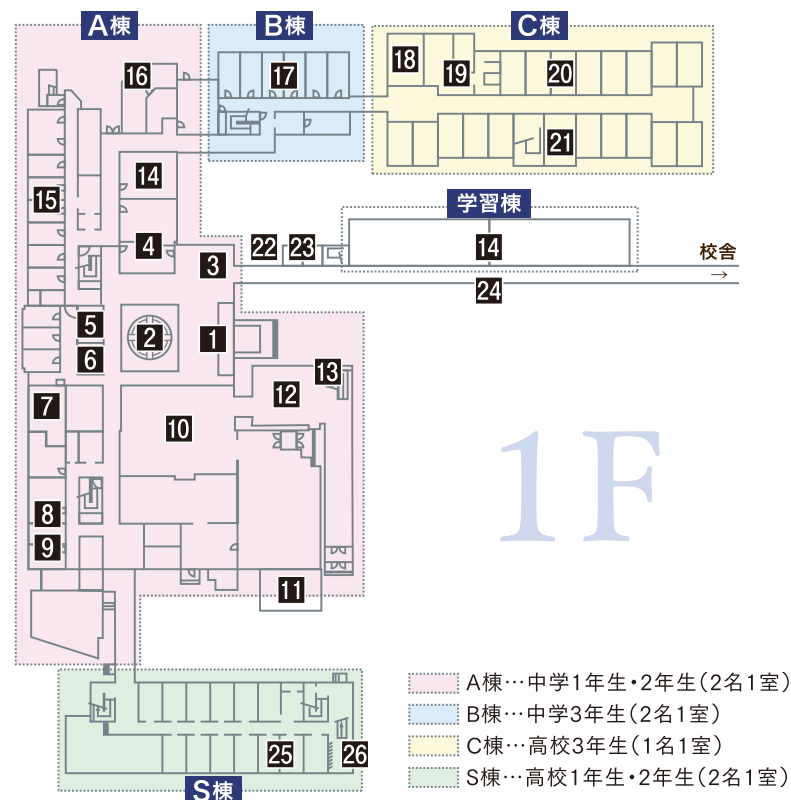
通学や帰寮で毎日必ず通る「1Fホール」や「玄関」が改修され、広々とした居心地のよい空間が誕生しました。中央に設置された暖炉を取り囲むように、仲間とともに語らうことのできるソファが多数用意され、リラックスした時間を過ごすことができます。売店、冷蔵庫(冷凍庫)、シャワールームも新しくなり、青雲寮での生活がさらに快適なものになりました。



充実した毎日を過ごすことができる 青雲寮の施設

校舎と連結した青雲寮から学校への登校時間は0分。時間を効率的に使うことができるため、青雲寮生は学習や課外活動に熱心に打ち込むことができます。青雲寮には約250の寮室があり、中学1年生～高校2年生は同学年の2人部屋（年に5回ルームメイト替えを実施）、高校3年生は受験に集中するため1人部屋で生活します。中学生学習室、学年

別の6つの自習教室、自習カウンター、補習室などのさまざまな学習教室が用意され、高校生は自分に合った環境で勉強することができます。また、400名が一斉に食事をとることができる大食堂をはじめ、2つの大浴場や多数のシャワールームもあり、青雲寮コース生は快適な生活を送ることができます。



1 玄関



2 1Fホール(暖炉)



3 1Fリラックススペース



4 寮職員室



5 売店



6 共用冷蔵庫
※高校生は自室にも個別冷蔵庫



7 1F大浴場



8 洗濯コーナー



9 個別洗濯機
※高校生使用可



10 大食堂



11 ウッドデッキ
※夏季使用可



12 フリールーム



13 S棟リラックススペース



14 学年自習室



15 A棟寮室



16 シャワールーム



17 B棟寮室



18 C棟洗面室



19 C棟シャワールーム



20 C棟寮室



21 C棟ラウンジ



22 フィンランド式サウナ(2台)



23 面談室



24 自習学習カウンター



25 S棟寮室



26 ボルダリングウォール



27 2Fホール



28 中学生学習室



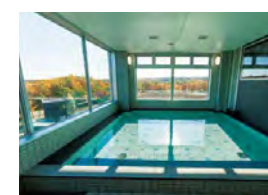
29 ルーフトップテラス
※夏季使用可



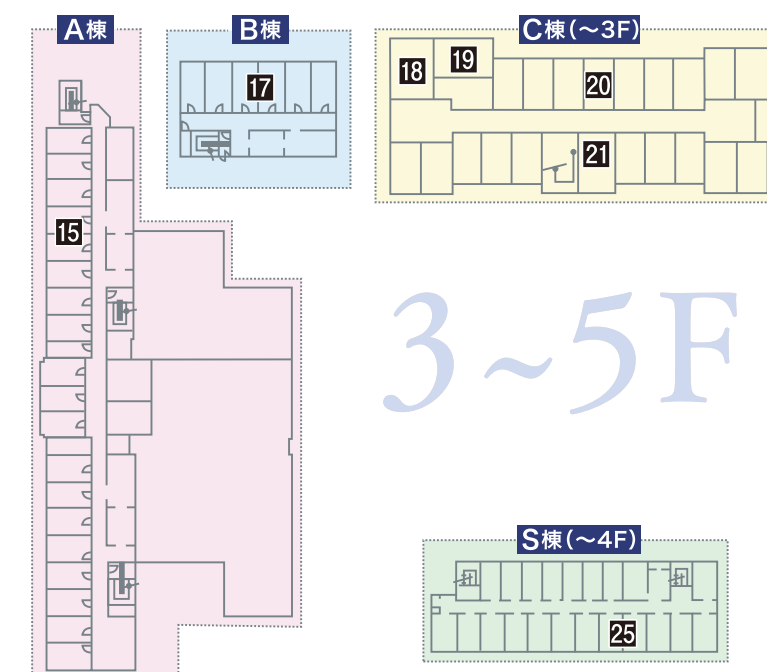
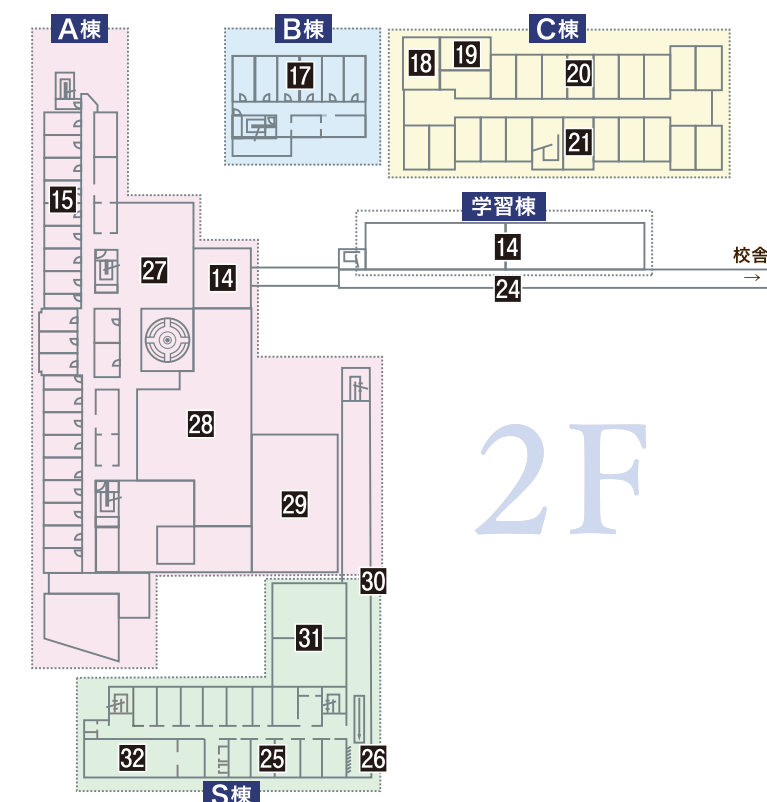
30 S棟自習カウンター



31 S棟集会ルーム



32 S棟展望大浴場



青雲寮で貴重な体験ができる レクリエーション(行事)

青雲寮では毎月、仲間どうしの交流を図ることのできる、さまざまなレクリエーション(行事)を実施しています。北海道という環境を活かしたアクティビティも多数用意し、これらの活動を通じて互いの相互理解をさらに深めます。青雲寮コース生自身が企画する行事もたくさんあり、学年を超えた交流を行うこともできます。休日を利用して校外で行うレクリエーションもたくさんあり、青雲寮コース生は普段体験することができない貴重な時間を過ごすことができます。

4月 April	5月 May	6月 June	7月 July	8月 August	9月 September
- 入寮式 - 食育講演会 - 新入寮生歓迎ボウリング大会	プロ野球観戦(エスコンフィールドHOKKAIDO)	- 寮生vs教職員朝野球大会 - 定山溪温泉・プール旅行	野外ジンギスカンパーティー	ニュージーランド語学研修・ホームステイ	ルスツ遊園地遠足
10月 October	11月 November	12月 December	1月 January	2月 February	3月 March
- 野外ジンギスカンパーティー - 農業体験(稲刈り)	- プロバスケットボール観戦 - 酪農体験	- もちつき大会 - クリスマスパーティー	- お食事会 - テーブルマナー講習会	- さっぽろ雪まつり見学ツアー - スキー遠足	卒業式



青雲寮コースを知ろう 青雲寮コースQ&A

青雲寮には、全校生徒(747名)の約半数となる387名が共同で暮らしています。中学生からご家族のもとを離れて寮生活をする上で、受験生・保護者の皆様には多くの不安や心配事があると思います。少しでも青雲寮の生活についてイメージを持てますよう、よく質問をいただく以下のQ&Aをお読みください。青雲寮コースに興味のある受験生・ご家族の皆様は、必ず青雲寮をご見学いただき、ご家族全員が納得の上で入寮していただけますようお願いいたします。

◆青雲寮全般

Q.01	北嶺は全寮制か	希望者のみが入寮します。
Q.02	何人部屋か	中学1年生～高校2年生までは、同学年の2人部屋となります(年に5回、ルームメイトを変えます)。高校3年生は、集中して受験勉強に取り組めるよう1人部屋となっています。
Q.03	ルームメイトの決め方は	年に5回、定期試験後にルームメイト替え(部屋替え)を行います、事前に寮教諭との面談でルームメイトの希望を聞いて決めます。
Q.04	途中の入寮は	定員に空きがあれば入寮できますので、その際は学校にご相談ください。なお、通学生で保護者が転勤などで住居が変わり、通学できなくなる場合は青雲寮に入寮することができます。
Q.05	途中の退寮は	通学圏内の生徒は退寮しても問題ありませんが、遠方の生徒は保護者が通学圏内に移住すれば通学生として通学することができます。
Q.06	寮の費用は	寮費100,000円/月、保護者会費4,000円/月、暖房費30,000円/年をいただいています。寝具代(希望者)やレクリエーションなどで、別途費用がかかります。なお、寮費には食費・光熱費・学習指導費など、基本的な生活に必要な費用はすべて含まれています。
Q.07	寮見学は	学校見学と合わせて、寮見学をすることができます。生徒の様子をご覧いただきたいため、生徒が登校している平日・土曜日に見学が可能となっています。寮生活にはルールやマナーがありますので、入寮を希望される方は必ずご見学いただき、寮生活の説明を受けてください。 ※学校見学は本校ホームページから申し込むことができます。
Q.08	寮生活のメリットは	青雲寮には、北嶺中入試で選抜された学習意欲あふれる全国各地からの優秀な生徒が集まります。互いに切磋琢磨し合い、高いモチベーションを維持しながら難関大学進学をめざすことができます。また、自立心がつくとともに、集団生活における社会規範を学ぶこともできます。
Q.09	青雲寮コースのメリットは	寮生限定の夜間講習を受講できるほか、寮教諭や北嶺OB大学生チューターの学習指導を受けられますので、効率的に学習を進めることができます。また、普段経験ができないさまざまなレクリエーションにも参加できます。
Q.10	寮生の通学時間は	学校に併設されているため、徒歩0分となっています。寮生は通学にかかる時間を、学習や課外活動に充てることができます。
Q.11	住民票の移動は	住民票を青雲寮に移す必要はありません。なお、入学時に住民票抄本を学校に提出していただきます。
Q.12	青雲寮コースの定員は	1学年60名(北海道20名、北海道以外40名)です。青雲寮コースを希望する受験生が多いため、北嶺中入試の結果で青雲寮コース生を選抜します。以下にある、2024年度北嶺中入試での選抜結果をご確認ください。

2024年北嶺中入試

「青雲寮コース」の合格者数/合格点 ●青雲寮コース定員 入学者120名のうち60名(北海道在住者20名、北海道以外在住者40名)

	特待選抜入試	一般入試		
		専願区分	併願(併願A)区分	併願B区分
青雲寮コース出願者数	684名	159名	97名	224名
合格者数	123名	52名	35名	125名
青雲寮コース合格点	305点	北海道241点 本州 248点	265点	270点
※学校合格点	305点	212点	227点	228点

※特待選抜入試の合格者は、自動的に青雲寮コースにも合格します(入寮の辞退可)。青雲寮コースの合格点は希望者が多いため、学校の合格点よりも高くなります。

◆帰省・帰寮

Q.13	帰省の時期や日数は	年に5回(GW7日間、夏休み25日間、秋休み5日間、冬休み25日間、春休み20日間)は必ず帰省してもらいます。
Q.14	帰省・帰寮時の交通手段は	「青雲寮」⇄「新千歳空港」・「地下鉄大谷地駅」間で、寮生専用の送迎バスを運行します。バスの発車時刻をあらかじめお知らせしますので、時間に合わせて旅券を手配してください。
Q.15	帰省は一人で行動するか	中学1年生の最初の帰省は、先輩が現地空港の到着ロビーまで案内しますのでご安心ください。
Q.16	帰省・帰寮の日程はいつわかるか	次年度の年間計画を3月に発表しますので、帰省・帰寮日に合わせて旅券を手配してください。
Q.17	帰省・帰寮時の荷物は	寮職員室にヤマト運輸の伝票(送り状)がありますので、自分で記載して寮職員室まで荷物を持参してください。また、帰寮時は帰寮日の着日指定で荷物を送ってください。
Q.18	長期休みに寮に残れるか	ご家族で過ごす時間も大切ですので、基本的に長期休みは寮に残ることはできません。ただし、高校3年生は大学受験に向けた講習がありますので、希望者は寮に残ることができます。

◆生活面(家具や設備)

Q.19	家具等の持ち込みは	机・ベッド・タンスを用意していますが、必要であれば簡易衣装ケースを1個まで持ち込めます。共用生活となりますので、あまり荷物を持ち込まないでください。自室と学習室用の電気スタンド2個、入浴時に使う小さなカゴがあると便利です。
Q.20	寝具の持ち込みは	自分に合った寝具を持ち込んで構いませんが、レンタル寝具(月2回シーツ交換)も利用できます(※別途費用)。
Q.21	エアコンは	食堂や学習室などの共用部分、高校生の寮室はエアコンを設置しています。
Q.22	お風呂・シャワーは	2つの大浴場、30のシャワーブースがあり、決められた時間に使用することができます。また、希望者はサウナを利用することができます。
Q.23	冷蔵庫は	中学生は、寮職員室前に設置した共用の冷蔵庫を使用します。高校生は自室にある、自分専用の冷蔵庫を使用します。

◆生活面(お金や生活用品購入)

Q.24	貴重品(財布・携帯電話)の管理は	中学生の財布と携帯電話は、寮職員室で管理しています。高校生は原則自己管理となりますが、自室の金庫やセーフティーロッカーを利用することができます。
Q.25	生活用品の購入は	文具、ティッシュ、風呂・洗面用具などの生活用品は、青雲寮売店(週3回開店)で購入できます。休日に、近隣のスーパーに買い出しにいく寮生もいます。
Q.26	お菓子や飲み物の購入は	青雲寮の売店(週3回)でお菓子や飲み物を購入(400円まで/回)できますが、ジュース・アイス・お菓子・カップラーメンなどの自販機も設置しています。
Q.27	お小遣いは	青雲寮の売店を利用した場合は、入寮時に申請した口座から引き落としとなります。現金が必要な場合は、事前に寮職員室に申請する必要があります(1,000円まで/週)。なお、高額な現金が必要になる場合は、事前に保護者に電話等で確認させていただきます。
Q.28	売店、お小遣いの使用状況は	月に一度、売店利用額やお小遣い使用額をメール(mypa配信システム)にて配信しています。

◆生活面(その他)

Q.29	入寮時に持ち込むものは	Q.19にもありますが、1室2名での利用が基本となりますので、あまり荷物を持ち込まないでください。学習道具や着替え以外で必要になった場合は、その都度買い足しをしてください。
Q.30	寮での履物は	寮内では学校の上靴とは別の上履き(クロックスサンダルも可)を着用します。
Q.31	洗濯は	洗濯を担当する専門のスタッフがいますので、自分で洗濯する必要はありません。登校前に洗濯物を出すと、放課後にはできあがり、自分の洗濯物ロッカーに返却されます。自分の衣服とわかるよう、衣服の一部に寮生番号を記載していただきます。なお、高校生は個別の洗濯機・乾燥機を利用することができます。
Q.32	清掃は	共用部分は専門スタッフによる清掃を行います。自室は自分で清掃します(各フロアに掃除機を用意)。自室が汚くないよう、定期的に寮教諭が清掃状況を確認します。
Q.33	門限は	平日は外出禁止、休日は17:30(冬季17:00)まで帰寮することになっています。保護者が同伴の場合は平日でも外出ができ、外泊もすることができます。外出・外泊の際は、寮職員室に必ず外出届・外泊届を提出します。

◆食事

Q.34	1日の食事の提供は	毎日「朝食・昼食・夕食＋夜食」の4食を提供しています(日曜は夜食なし)。
Q.35	自炊は	自炊はできませんが、給湯器がありますのでカップラーメンなどを作って食べることができます。
Q.36	アレルギー食への対応は	対応していますので、入寮時に必ずご相談ください。

◆休日

Q.37	休日の過ごし方は	土曜日の放課後13:30～17:30(冬季17:00)、休日の9:00～17:30(冬季17:00)は外出して、近隣のスーパーや書店に買い物に行くことができます。また、休日は青雲寮でゆっくり過ごせるよう、体育館開放・グラウンド開放・映画鑑賞会なども行っています。
Q.38	休日の交通手段は	徒歩10分ほどで、地下鉄福住駅行の路線バス停留所があります。
Q.39	自転車の貸し出しは	青雲寮には45台の自転車があり、夏季(5～10月)の休日は自由に利用できます(3時間までの貸し出し)。

◆インターネット・携帯電話・ゲーム機

Q.40	インターネットの使用は	青雲寮で貸し出しているパソコンやiPadでは、Wi-Fiを利用することができます。
Q.41	携帯電話・スマートフォンの持ち込みは	スマートフォンの持ち込みは禁止しています。必要な方は、ガラケー(フィーチャーフォン)型の携帯電話をご用意ください[LINEなどのアプリは使用可]。携帯電話の使用は休憩時間のみとなり、中学生は寮職員室に預ける必要があります。
Q.42	パソコン・ゲーム機・タブレットの持ち込みは	学校・寮での生活に集中するため、パソコン・ゲーム機・タブレットの持ち込みは禁止となっています。学校や寮に設置しているパソコン、寮で貸し出すiPadなどを利用してください。 ※2024年現在、本校では授業や自学で使用する個別のパソコンを生徒に持たせていませんのでご了承ください。
Q.43	スマートフォン・パソコン・ゲーム機・タブレット・不要物を持ち込んだ場合は	スマートフォン・パソコン・ゲーム機・タブレットやその他の不要物を持ち込んだ場合は、保護者に送り返すとともに、停寮や退寮処分を受けることになります。その他、禁止されている物を持ち込んだ場合も同様になります。

◆娯楽・教養

Q.44	TVの設置や鑑賞は	寮内に8台設置していますので、自由時間に鑑賞することができます。また、特別なスポーツイベントがある場合は、許可を得れば鑑賞することができます。
Q.45	新聞や雑誌、書籍は	スポーツ新聞を含む、7種類の新聞や科学誌を購読しています。学校でも3種類の新聞、スポーツ誌や科学誌などを購読しています。学校には蔵書65,000冊の図書室、青雲寮にはミニ図書館があり、自由に本を借りて読むことができます。
Q.46	楽器の持ち込みや利用は	原則、持ち込みは禁止です。寮には電子ピアノ・エレキギター・アコースティックギター・ドラムがあるので、自由時間であれば使用できます。また、休日は学校に設置されたグランドピアノ(2台)も使用できます。どうしても楽器を持ち込みたい場合は、ご相談ください(寮職員室で預かります)。
Q.47	習い事は	平日は外出禁止となっていますので、習い事をすることはできません。中学に入学し環境が変わりますので、一度区切りをつけていただき、新たなことに挑戦してください。

◆健康面(病気・通院)

Q.48	健康相談は	養護教諭(看護師)が青雲寮に常駐していますので、いつでもご相談ください。また、定期的に青雲寮に寮医が往診する他、学校のカウンセラーと面談することもできます。
Q.49	既往症(持病)への対応は	入寮時に保護者と相談し、常駐の養護教諭(看護師)がサポートをしながら、自己管理ができるよう指導しています。
Q.50	通院が必要な場合は	青雲寮スタッフが病院に送迎し、病状や様子を保護者に連絡しています。一人で通院させることはありませんので、ご安心ください。定期的に通院が必要な場合は、曜日を決めて通院する寮生をまとめて送迎しています。
Q.51	病気(ケガ)や入院時は	保護者に連絡をとり、病院へ搬送します。入院が必要となった場合は、青雲寮スタッフが保護者の代行として対応します。入院となった場合は寮母が看病に行きますので、遠方から保護者が札幌に来る必要はありません。
Q.52	保険証は	入寮時に、必ず本人に保険証を持たせてください。
Q.53	ワクチン接種は	毎年秋に寮医が青雲寮内で、インフルエンザの予防接種を行います(希望者)。

◆学習面

Q.54	学習に遅れた場合の対応は	寮と学校は連携していますので、個別指導が必要な場合は寮教諭が個別の学習指導を行います。また、学校でも習熟が満たない生徒に対し、徹底した補習・追試を実施しています。
Q.55	通塾や家庭教師は	塾や予備校の代わりとして、学校の先生・寮教諭による「夜間講習」を受講できる他、寮教諭や北嶺OB大学生チューターの学習指導を受けることができますので、通塾や家庭教師の必要はありません。どうしても家庭教師をつけたい場合は、青雲寮や学校にご相談ください。なお、中学3年生以上の希望者は、タブレット教材を利用した「atama+」を受講することができます(※別途費用)。
Q.56	成績状況を知れることは	定期試験の得点確認票、模擬試験の結果、通知票をメールにて送付しています。また、定期的に寮教諭から保護者の方に電話連絡をさせていただいています。何かご不安なことがありましたら、いつでも青雲寮や学校にご連絡ください。
Q.57	延灯学習はできるか	23:30には消灯となりますが、中学生は～24:30、高校生は～25:00まで学習することができます。

◆保護者

Q.58	寮生との面会は	保護者・ご家族の方は、いつでも面会することができます。また、遠方からお越しの場合、保護者同伴であればいつでも外出・外泊することができます。
Q.59	保護者の来校(来寮)は	5月・10月の授業参観、7月の学校祭、10月のラグビー大会、11月の柔道大会で来校(来寮)する方が多いですが、参加は必須ではありませんので、来校(来寮)いただかなくても構いません。
Q.60	青雲寮への宿泊は	保護者・ご家族の方は青雲寮に宿泊できませんので、近隣の宿泊施設を利用してください。
Q.61	連絡を取りたい場合は	携帯電話を持っている寮生は、自由時間・休憩時間に連絡をとることができます。急ぎの場合は、青雲寮へ直接お電話ください。放送にて電話口まで呼び出します。
Q.62	寮生活の様子を知ることは	青雲寮ブログに、写真や動画(レクリエーションのとき)を毎日更新しています。
Q.63	寮と家庭の連絡は	寮教諭を中心に、定期的に保護者に電話連絡をさせていただいています。また、学校や寮からのお知らせ・お便りは、メール(mypa配信システム)にて配信しています。
Q.64	郵便物・宅配物を送ることは	個人あてに郵便物や宅配物を送付することができますが、冷蔵や冷凍が必要な物の送付はご遠慮ください。また、必要以上に物品を送付するのもお控えください。

◆防災・安全

Q.65	災害時(地震など)の対応は	本校は標高120mに位置していますので、津波の心配はありません。災害時に備え、毛布・懐中電灯・携帯ラジオ・3日分の非常食と飲料水を備蓄しています。
Q.66	寮のセキュリティーは	夜間は玄関を施錠するとともに、屋内外の必要な場所に防犯カメラを多数設置しております。



青雲寮S棟が完成、快適な生活空間へと進化
～充実した生活・学習環境が整いました～

学校HP



学校見学会への
参加はこちらから

X(旧Twitter)



最新の学校情報は
こちらから



学校法人 希望学園

北嶺中・高等学校

〒004-0839 札幌市清田区真栄448番地の1
TEL.011-883-4651(代表) FAX.011-884-1616

青雲寮 TEL.011-881-9431 FAX.011-881-9440

詳しくはホームページから

<https://www.kibou.ac.jp/hokurei/>

ほくれい



で検索